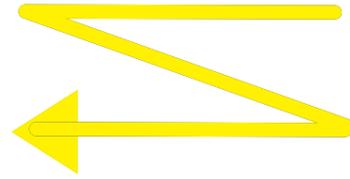




建設当初



現在



特集

旧本庁舎と歩んだ53年

53年もの間、私たちの生活とともに歩んできた旧本庁舎。今月、新庁舎へと移転します。そこで旧本庁舎での懐かしい思い出話から、これまでの旧本庁舎の歴史を振り返ります。

昭和17年から始まった市町村合併や地方行政事務の増加により、田辺市発足当初の職員数は83人だったものの575人にまで増え、警察庁舎も使っている状況でした。

そうした不便な状況を解消し、また、来庁した市民の方々の憩いの場としても活用できるように、海岸近くの現在地（県立田辺高等学校の跡地）に旧本庁舎を建設することになりました。

旧本庁舎が完成



田辺町と下芳養村が合併し、田辺市発足

昭和
46年
1971

昭和
17年
1942

令和3年(2021)
東京2020オリンピック開催

平成23年(2011)
東日本大震災

平成
17年
2005



5市町村が合併し
新「田辺市」発足

平成8年(1996)
羽生善治が将棋タイトル
7冠独占

平成7年(1995)
阪神淡路大震災

令和
6年
2024

平成
8年
1996

市立美術館が完成



平成
7年
1995

本宮町庁舎が完成



現：本宮行政局

市民総合センターが完成



平成
5年
1993

龍神村庁舎が完成



現：龍神行政局

昭和
59年
1984

中辺路町庁舎が完成



現：中辺路行政局

昭和
52年
1977

紀南文化会館が完成



水道事業所が完成



昭和45年(1970)
大阪万博開催

昭和48年(1973)
第一次オイルショック

新庁舎が完成



全国初の取組!?

昭和53年には、全国で初めてオンラインシステムを導入。当時では、コンピューターを使用した電算機は画期的な取組として取り上げられました。



私にとっての市役所

長く市役所で働かれていた川端さん、購買部の武田さんに市役所での思い出を伺いました。

議場に感動

私が採用された頃の市役所は木造庁舎でした。旧本庁舎ができたとき、一番印象に残っているのは議場です。4、5階が吹き抜けて天井が高く、ひな壇になっていて議場を見下ろすように傍聴席があり、感動したのを覚えています。木造庁舎の時の議場は広めの教室に机とイスが並べられたようなもの。今では考えられませんが、普段は市役所の会議室としても使用されていました。

誰もが利用しやすい庁舎に

30年程前、障害などに関係なく誰もが生活しやすい環境をめざすノーマライゼーションが盛んに言われ始めました。その頃、国から田辺市が「やさしい福祉のまちづくり事業」のモデル都市に指定され、庁内外に誘導点字ブロックや音声案内装置を設置したり、点字シールを貼ったりするなど、バリアフリー化に携わった思い出があります。

皆さんと関わってとても楽しかったです



購買部 武田さん（右）元同僚の濱田さん（左）と一緒に

働きやすい環境

障害者の働く機会を作るということで、身体障害者連盟が市役所の購買業務に携わることになりました。夫が連盟に入っていたことがきっかけで、私は障害者のフォローをする立場として20年余り働いていました。皆さん、障害者が働くことを理解してくれて、とても働きやすい環境でした。

人とのつながりが楽しかった

購買は食堂の隣にあったので、食事の後には職員だけでなく市民の方も立ち寄り、昼時にはとてもにぎわっていました。お客さんとのコミュニケーションも楽しく、やりがいのある仕事でした。今でも気軽に声を掛けていただきありがとうございます。

市役所にまつわるエピソード

知る人ぞ知る、旧本庁舎で愛されてきた食堂や松のお話を紹介します。

この庁舎ができた頃から庁舎前にあったとても立派な松をご存じですか？樹齢は分かりませんが、令和2年に寿命により伐採されることになりました。

約50年間市民の皆さんに親しまれてきた松の木を活用しようと、棚やベンチに作り替えられました。これからは新庁舎に設置されます。これからはずっと庁舎と一緒に寄り添ってほしいものです。



市役所と松

建設当時は市内でも最新のデザインが施された庁舎でした。時代とともに誰もが利用しやすい庁舎に姿を変え、様々な方と関わり愛され続けてきました。



建設当初



現在

これからは、新しい場所でさらに市民の皆さんに身近な庁舎となるよう生まれ変わります。

53年間お疲れ様でした。

残されている設計図から建設当時を知る



建築課 田上 係長

旧本庁舎が建設された昭和46年、小中学校や警察署など当時の建物といえば木造2階建てが主流のなか、5階建ての鉄筋コンクリート造で建てられました。しかも全国でも有名な建築設計会社が設計した最新デザインでした。鉄筋コンクリートだからこそできる庁内を一括管理する空調設備や、自家発電も整備。また、市民の皆さんが主役だということで最上階に議場が作られました。まだパソコンがなく、建設重機もあまりない時代、建築は人力主体でした。足場は丸太、コンクリートをならすには竹でついていたような頃に、この庁舎が造られたのはすごいことだと思います。

どんなオーダーにも応えてきました！

職員だけでなく、市民の方にも多く利用されていた食堂「三ツ葉」。ラーメンは夜中から仕込まれた豚骨スープで、カレーの隠し味にもなっていたそうです。

また、三ツ葉はお客さんからの様々な要望に応じて隠れメニューがたくさんありました。天ぷらはラーメンを始めいろんなものに乗せられ、野菜炒めは卵で巻くなどしていたそうです。

食堂で食べるだけでなく、惣菜のテイクアウトもできました。中にはタッパー持参でラーメンをテイクアウトされる方も。昼前になると庁内のあちこちに惣菜やお弁当が運ばれ、「三ツ葉です～」の声でお昼を告げてくれていました。